



Lesson 1

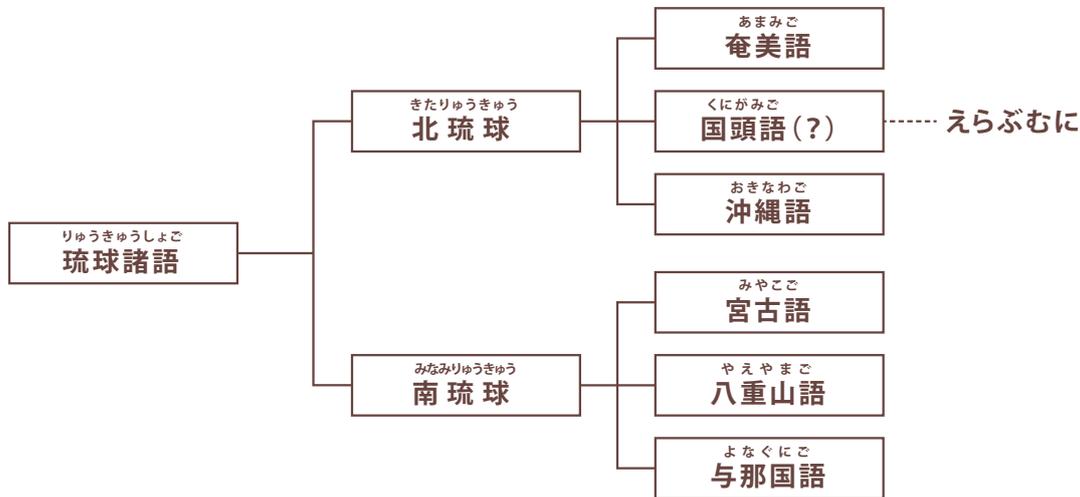
えらぶむにってどんなことば？



1 えらぶむにってどんなことば？

「えらぶむに」とは、奄美群島沖永良部島あまみぐんとう おきのえらぶじまで話されている言葉です。「沖永良部」を表す「えらぶ」と、「言葉」を表す「むに」で「えらぶむにおきのえらぶ（沖永良部のことば）」という意味になります。

「えらぶむに」は、奄美群島あまみぐんとうから沖縄の先島諸島さきしましょとうで話されている「琉球のことばりゅうきゅう（琉球諸語）」の仲間です。日本で話されている言語は、大きく、アイヌ語、日本語、そして琉球諸語りゅうきゅうに分けられます。そして、琉球諸語りゅうきゅうはさらに細かく分けることができます。



日本語と琉球語がいつ、どのように分かれたかについては、色々な説があります。しかし、少なくとも1300年以上前に分かれたのではないかとされています。その証拠に、琉球の言葉には、上代日本語じょうだいにほんご（奈良時代以前の日本語）にはあったものの、現代の日本語げんだいには残っていない音や文法の特徴が、今でも残っています。

2 危機言語としてのえらぶむに

世界には6000から7000の言語がありますが、その多くは急速に話す人が減っており、近い将来、無くなるかもしれないとされています。そこで、UNESCO (ユネスコ) は、危機的な状態にある言語の記録と復興を目的として「危機言語地図 (Atlas of the World's Languages in danger)」を公表しました。その地図には、日本語から8つの言語 (Ainu, Hachijo, Amami, Kunigami, Okinawa, Miyako, Yaeyama, Yonaguni) がのりました。えらぶむにも、与論・沖縄北部の言葉と共にKunigami language (国頭語) として掲載され、このままでは無くなる恐れがあると考えられています。



日本の中の危機言語 <http://www.unesco.org/languages-atlas/>

しかし、危機言語は「いま何もしなければ、無くなる恐れがある言語」である一方で「いま何かをしたら、次の世代まで伝えることができる言語」です。えらぶむにを知っているアジ (おばあちゃん) やジャージャ (おじいちゃん) に色々なことを教えてもらい、未来に貴重な島の文化を引き継いでいきましょう。

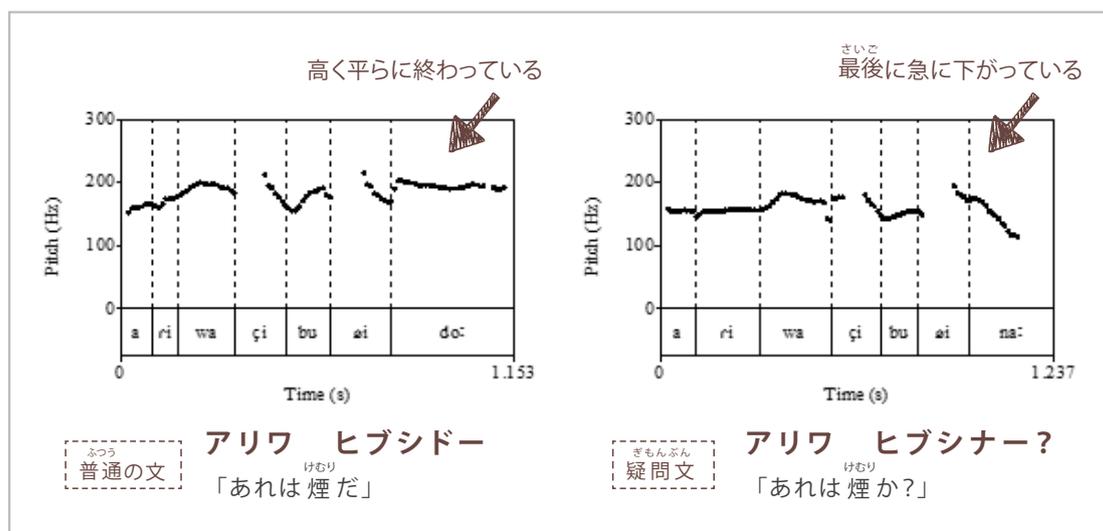
3 えらぶむにの面白いところ

日本語と琉球諸語は遠い昔に同じ祖先から分かれた言葉です。このため、琉球のことは日本語の古い特徴を持っています。一方で、島々に独自の歴史を歩んだことから、日本語には無い特徴や、世界的に見ても珍しい特徴もあります。ここでは、世界の言語と比べて珍しいえらぶむにの特徴を2つ紹介します。

3-1 疑問文は上がる？下がる？

日本語では「お腹すいた？」と聞くとき、どんな風に発音しますか？日本語を始め、世界の多くの言語では、「はい／いいえ」で答えられる疑問文を「尻上がりのイントネーション」で発音します。それでは、えらぶむにではどうなるのでしょうか？

左の図は「アリワ ヒブシドー（あれは煙だ）」という普通の文、右の図は「アリワ ヒブシナー？（あれは煙か？）」という疑問文の、音の高さを測ったものです。左の図が高く平らに終わっているのに対して、右の図では最後に急に下がっていることが分かります。



ここから分かるように、えらぶむにの珍しい特徴の1つは「疑問文で尻下がりのイントネーションを使う」ということです。

3-2 格:主語と目的語の印のつけ方

「格」とは、かんたんに言うと「**主語**や**目的語**に**印**をつける**仕組み**」です。

主語は、おもに「**動作**をする人」、目的語は、おもに「**動作**の**対象**になる人やもの」を表します。例えば、(1)の文では「**太郎**」が主語、「**ご飯**」が目的語です。

(1) **太郎** **が** **ご飯** **を** 食べた
主語 目的語

この「主語」や「目的語」に印をつけるとき、日本語では、主語には「**が**」、目的語には「**を**」をつけます。この印のおかげで、語順が変わっても、意味を間違えません。

<p>「主語」や「目的語」への印のつけ方には4通りがあります。このうち「③主語だけに印をつける」言語はとでも珍しく、これまで数例しか報告されていません。</p>	<p>① どちらにも印をつける。 ←日本語 ② 目的語だけに印をつける。 ③ 主語だけに印をつける。 ←えらぶむに ④ どちらにも印をつけない。 <small>(別の手段を使って、主語・目的語を表す)</small></p>
---	--

それでは、えらぶむにはどうなっているのでしょうか？

(3)は「**さぶ**が**ご飯**を食べた」(4)は「**お母さん**が**私**を呼んだ」という文です。

(3) **さぶ** **が** **メー** **カダン** (4) **アマ** **が** **ワン** **アビタン**
さぶ **が** **ご飯** **を** 食べた **お母さん** **が** **私** **を** 呼んだ

(3)の主語「**さぶ**」と(4)の主語「**アマ**(お母さん)」には、どちらも「**ガ**」がついています。一方、(3)の目的語「**メー**(ご飯)」と(4)の目的語「**ワン**(私)」には何もついていません。つまり、えらぶむには「**③主語だけに印をつける**」言語だと言えます。

まとめ

- えらぶむには**琉球**のことばの仲間。
- **危機言語**(何もしなければ無くなってしまいかもしれない言語)の**1つ**。
- 日本語には**無い特徴**や、世界の言語と比べて**珍しい特徴**がある。